

③ コーチングに関する研修

すべての教育活動において体罰が起こらないような学校風土づくりをめざし、体罰に頼らない教師と子どもの信頼関係に基づく教育的指導のあり方について研修会を行った。(トワイライト研修と合わせて実施)

開催日 平成29年1月13日(金)

講師 大阪体育大学 特任教授 岡澤 祥訓 氏

テーマ 「運動部活動指導や体育の授業におけるコーチングの可能性と限界
～運動有能感の視点から～」

【内容】

1 コーチングとティーチング

- ・目標達成の方法や考え方をまとめるプロセスを選手が自ら発見し、決定するというメンタルトレーニングの目的と、コーチングの目的は類似している。

2 実力を高めるためのメンタルサポート

- ・体罰のような外発的動機付けではなく、生徒が自発的に練習するように働きかける必要があり、内発的に動機付けられた選手を育成することが大切である。

3 運動有能感を高めるために

- (1) 評価は相対評価ではなく個人内評価をする。
- (2) 指導行動としての「ほめる・怒る・励ます」ことなどの工夫が有効である。

